

## 評価の具体例

例 1 ) 男児 2才3ヶ月

記録表「2才から3才くらい」を使用。

結果：前期 2、9、10、11、12、13番で不通過。

後期 2、9番は通過したが10、11、12、13番で前期に引き続き不通過。

P10表1)「質問項目と発達の意義の関係」にて「2~3才」の発達項目を参照。

10、11、12、13番 “言語理解・表出、対人反応、社会性” に相当。

2番 “粗大運動” に相当。

9番 “日常生活身辺自立” に相当。



よって、10、11、12、13番が前後期ともに不通過であり、“言語理解・表出、対人反応、社会性”の遅れが見られる。

P10表2)「不通過項目と発達障害」にて「2~3才」で“言語発達・表出、対人反応、社会性の遅れ”を呈する発達障害種別を参照。 「広汎性発達障害」が疑われる。

例 2 ) 男児 6才5ヶ月

記録表「6才くらい」にて4、9、10、13、14bが前後期とも不通過でした。

園での様子は、

- ・ 話しかけられても聞いていないように見える。
- ・ 課題や活動を順序だててすることが困難。
- ・ 作業に必要な物をよくなくす。
- ・ 質問が終わる前に出し抜けに答え始めてしまう。
- ・ 順番を待てない。 など

家庭での様子は、

- ・ 食事中、手足をそわそわ動かし、椅子の上でもじもじする。
- ・ 静かに遊べない。
- ・ じっとしていない。
- ・ シャベリ過ぎる。
- ・ 言葉の遅れがあった。 などがありました。

記録表の4、9、10、13、14bをP10表1)「質問項目と発達の意義の関係」で見ると、“社会性、行動”に相当します。

次に、P10表2「不通過項目と発達障害」で6才を見ると、社会性の発達障害、行動上の問題が見られる「行動障害」が疑われます。